

人権啓発講演会にて活動紹介

11月9日(水)・10日(木)・11日(金)、神奈川県内にて行われた人権啓発講演会において、落語家・露の新治氏が、お笑い人権高座「笑顔でくらす、願いにいきる」～自分の人生、自分が主役～と題して講演しました。山梨ランチでは、代表・横山隆史が挨拶を兼ねて山梨県における活動内容の紹介を行いました。



落語家・露の新治氏



山梨ランチ代表・横山隆史(左は手話通訳者)

対面で会話する大切さ



SNSが日常に入り込み、スマートフォンで簡単に情報発信ができる時代になりました。世界中の情報がどこにいても手に入ることは非常に便利ですが、情報が溢れているだけに、私たちは情報を整理し正確性や本質を感じとる力が必要となります。簡単に情報発信ができてその言葉がネット上に掲載されることには、自分の言葉が一人歩きしてしまう危険性があります。SNS上では、その安易な発言からバッシングを受けることがあります。その背景には、自分の言葉に責任を持たずに発言してしまう傾向と人を安易に批判する風潮があると感じます。

どうしてそのようなことになってしまうのか？対面で話をする機会が減少し、画面上だけでのやり取りが多くなり、表情や声のトーンを汲み取ることがない、文字だけの会話に慣れてしまっているのも原因の一つではないかと危惧します。言葉では同じ「ありがとう」や「ごめんなさい」でも、対面では言い方によって受け取る感覚も感情も異なります。真剣なときもあれば冗談のときもある、それは対面で話すことで学んできたはずで、直接、人と話すことで積み重ねられた会話力でそのニュアンスや感情を感じてきたはずで。

また、匿名での安易な誹謗中傷は、人を大切に考えない思想も感じ取れます。人のことをあまり考えずに自分だけよければよいという気持ちが、自分のことはさておき人を口撃してそれを正義と感じてしまうのではないのでしょうか。それも対面での会話から学んでいけば、安易な発言をする前に人のこと自分のことを考えることができるはずで。対面で会話することは、人のことを考え大切にする気持ちを養うことにもつながります。デジタルの時代だからこそ、人の表情を感じ言葉のトーンを感じ、生きた言葉で会話する機会を増やすことが必要です。まずは家族での会話を増やし、ネットに頼らない友だちとの対話を増やしましょう。それは人権感覚を育て人権意識を高めることにもつながるはずで。

活動報告

Yahoo!JAPAN ネット募金



オレンジハートリボン運動のYahoo!JAPANネット募金において、ご寄付いただいた方が2,600人を超えました。多くの方にご関心とご支援をいただいております。心より御礼申し上げます。

<http://donation.yahoo.co.jp/detail/5086001/>

オレンジハートリボン運動 ネット募金

検索

Yahoo!JAPAN からは、トップページ左下「ネット募金」をクリック

人権啓発講演会

11月9日(茅ヶ崎市民文化会館)、11月10日(横須賀市文化会館)、11月11日(神奈川県立音楽堂)、人権啓発講演会を行いました。山梨ランチとして挨拶を兼ねて山梨での活動内容を紹介しました。

人権パネル展

11月9日～11月22日(市立甲府病院)、命のメッセージ展と題して人権啓発パネル展を開催しました。

今後の予定

人権パネル展

12月7日～12月20日(甲府市北公民館/甲府市南公民館)



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ

代表：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室

TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp